

「富士山登山鉄道構想」の進捗状況について

山 梨 県

1. 経緯

- 山梨県が設置した「富士山登山鉄道構想検討会」において、山梨県側五合目に至る交通システムの在り方を検討した結果、既存道路を活用したLRT（次世代型路面電車）整備を軸とする「富士山登山鉄道構想」がとりまとめられた（2021年2月）。
- この提案を元に、令和3年度は富士山の課題解決に向け、特に利用者が集中している山梨県側の五合目に至る交通システムや五合目のあり方について地元関係者等との小規模ミーティング等による意見交換を進めている。

2. 進捗状況

- 学術委員会からの提言を踏まえ、計画段階H I A（遺産影響評価）の素案を作成し、遺産影響評価部会に協議を行った。
- 計画段階の遺産影響評価を行うために、まずは現状や論点など評価の前提について整理する必要があることなどが議論された。これを受け、前提の整理等をしばらく行うこととなった。